

「倉敷市第六次総合計画」では、重要なまちづくりの課題を「めざすまちの姿」と表現し、その「めざすまちの姿」の達成状況を測る“ものさし”として、「まちづくり指標」を設け、平成27年度と令和2年度における目標値(めざそう値)を設定しています。
 「まちづくり指標」については、「まちづくり指標」アンケート調査や、市での集計、各種統計等により、毎年度、実績値を把握していくこととしています。
 今回の「まちづくり指標」の実績値について、基準値からの動向は以下のとおりでした。
 改善:92指標(59.0%) 悪化:63標(40.4%) 維持:1指標(0.6%)

※基準値及び実績値欄の「n=…」は、アンケートの有効回答者数を表しています。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
だれもがその人らしさ(個性)を尊重され、幸せに暮らしていくことができる	1-① その人らしさが尊重され、人権が守られる社会をつくる	日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思う人の割合	➡	46.9 % (n=1,653)	51.5 % (n=849)	52.6 % (n=869)	51.4 % (n=859)	➡	➡	60 %	70 %	市民アンケート調査で「日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。
		「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合	➡	35.5 % (n=1,039)	48.4 % (n=849)	51.6 % (n=869)	56.5 % (n=859)	➡	➡	45 %	55 %	市民アンケート調査で「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。」という設問に対して、『同感しない』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「倉敷市男女共同参画基本計画」策定の基礎資料とするための、男女共同参画課が実施したアンケートの実績値。
		外国人や異なる文化を受け入れるよう心掛けている人の割合	➡	46.0 % (n=1,653)	41.8 % (n=849)	44.3 % (n=869)	45.6 % (n=859)	➡	➡	57 %	67 %	市民アンケート調査で「外国人や異なる文化を受け入れるよう心掛けていますか。」という設問に対して、『心掛けている』『どちらかという心掛けている』と回答した人の割合。
		地域の中で受け入れられていると感じている外国人の割合	➡	58.8 % (n=136)	48.8 % (n=162)	43.0 % (n=135)	27.0 % (n=100)	➡	➡	67 %	75 %	倉敷地区、児島地区、玉島地区、水島地区で実施されている日本語教室へ参加している外国人を対象としたアンケート調査で、「地域の行事に参加していますか。」という設問に対して、『参加している』『たまに参加している』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)、H23の設問は、「地域の行事に参加したことがありますか。」
人の痛みを、実感として子どもたちがわかっている	1-② 子どもが心豊かに成長できる学びの場をつくる	小学校での1,000人当たりのいじめの認知件数	➡	1.3 件	11.5 件 (H29)	21 件 (H30)	33.1 件 (R1)	➡	➡	1.1 件	0.9 件	いじめの認知件数/倉敷市の児童生徒数×1,000
		中学校での1,000人当たりのいじめの認知件数	➡	7.6 件	12.6 件 (H29)	19.3 件 (H30)	28.4 件 (R1)	➡	➡	4.4 件	2.8 件	いじめの認知件数/倉敷市の児童生徒数×1,000
		小学校での不登校児童出現率	➡	0.43 %	0.54 % (H29)	0.65 % (H30)	0.8 % (R1)	➡	➡	0.33 %	0.24 %	不登校による欠席が年間30日以上の子どもの児童生徒数/倉敷市の児童生徒数×100
		中学校での不登校生徒出現率	➡	3.37 %	2.54 % (H29)	2.50 % (H30)	2.66 % (R1)	➡	➡	2.43 %	1.82 %	不登校による欠席が年間30日以上の子どもの児童生徒数/倉敷市の児童生徒数×100
		困ったこと、辛いことがあった人を助けてあげたいと思う子どもの割合	➡	87.8 % (n=617)	89.4 % (n=499)	91.7 % (n=505)	90.6 % (n=510)	➡	➡	92 %	95 %	小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「困ったこと、辛いことがあった人を見たら、助けてあげたいと思いますか。」という設問に対して、『いつも思う』『ときどき思う』と回答した人の割合。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
教員の資質が保たれるなど、学校教育が充実している	1-③ 学校教育の充実を図る	学校が楽しいと思う子どもの割合	➡	85.4 % (n=617)	74.9 % (n=499)	78.0 % (n=505)	74.5 % (n=510)	➡	➡	90 %	94 %	小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「学校は楽しいですか。」という設問に対して、『とても楽しい』『まあまあ楽しい』と回答した人の割合。
		困った時、悩みがある時に相談する人がいると答えた子どもの割合	➡	89.1 % (n=617)	84.0 % (n=499)	87.7 % (n=505)	86.1 % (n=510)	➡	➡	93 %	96 %	小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「困った時、悩みがある時に相談する人がいますか。」という設問に対して、『いる』と回答した人の割合。
		自主的に資質向上のために取り組んでいる教職員の割合	➡	84.5 % (n=566)	85.2 % (n=661)	82.9 % (n=680)	86.3 % (n=679)	➡	➡	90 %	93 %	教職員対象のアンケート調査で、「自主的に資質向上(自己研鑽)に取り組んでいますか。」という設問に対して、『積極的に取り組んでいる』『まあまあ取り組んでいる』と回答した人の割合。
		「子どもの学校での教育がしっかりできている」と感じている人の割合	➡	47.4 % (n=268)	64.9 % (n=97)	65.3 % (n=101)	72.6 % (n=73)	➡	➡	58 %	69 %	市民アンケート調査における属性で、小学校、中学生がいる人で、「子どもの学校での教育がしっかりできていると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』『どちらかというと感じている』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は、「子どもの学校での教育がしっかりできていると感じていますか。」という設問に対して『そう思う』『どちらかというと思う』と答えた人の割合。
子どもたちが自然にふれながら、健やかに育っている	1-④ 子どもたちが緑や生き物などの自然にふれながら、学べる機会を提供する	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合	➡	87.6 % (n=617)	84.2 % (n=499)	84.4 % (n=505)	84.5 % (n=510)	➡	➡	91 %	95 %	小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「自然の中で遊ぶことを楽しいと思いますか。」という設問に対して、『とてもそう思う』『そう思う』と回答した人の割合。
		親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合	➡	58.4 % (n=1,653)	60.1 % (n=849)	57.3 % (n=869)	60.7 % (n=859)	➡	➡	68 %	77 %	市民アンケート調査で「市内に、親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思いますか。」という設問に対して、『あると思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思いますか。」
		自然にふれる活動に参加している子どもの数(人/年度)	➡	14,537 人	12,562 人	11,143 人	608 人	➡	➡	17,500 人	19,700 人	少年自然の家の利用者(乳幼児＋小中学生)、自然史博物館主催の自然観察会等の屋外活動、冒険遊び場、親子水辺教室、海辺教室、こどもエコライフチャレンジ、環境学習センター主催の屋外活動への参加児童生徒数 ※H21は、こどもエコライフチャレンジへの参加者ではなく、自然エネルギーキャラバンへの参加者数を計上。 ※H25より、環境学習センター主催の屋外活動への参加者数を追加。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
安心とゆとりをもって子育てを楽しんでいる	1-⑤ 安心とゆとりをもって、楽しく子育てできる環境を整える	合計特殊出生率	➡	1.53	1.63 (H29)	1.59 (H30)	1.56 (R1)	➡	➡	1.55	1.77 (H31)	人口動態統計より(毎年10月頃:年率)
		楽しく子育てできていると感じている人の割合	➡	31.3 % (n=335)	45.8 % (n=2,226)	45.8 % (n=2,233)	44.4 % (n=2,340)	➡	➡	46 %	62 %	就学前児童を持つ保護者、小学生を持つ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート(H26までは次世代育成支援後期行動計画アンケート))で、「子育ては楽しいですか。」という設問に対して、『楽しい』と回答した人の割合。 ※H24までは、市民アンケート調査における属性で、就学前または小学生を養育している人で、「楽しく子育てできていると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。
		子育てを家族で協力して行っている人の割合	➡	84.5 % (n=335)	86.3 % (n=2,213)	86.1 % (n=2,215)	84.5 % (n=2,325)	➡	➡	89 %	92 %	就学前児童を持つ保護者、小学生を持つ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート(H26までは次世代育成支援後期行動計画アンケート))で、「家族で協力して子育てをしていますか。」という設問に対して、『十分協力している』『まあまあ協力している』と回答した人の割合。 ※H24までは、市民アンケート調査における属性で、就学前または小学生を養育している人で、「あなたの家庭では子育てを家族で協力しておこなっていますか。」という設問に対して、『いつもおこなっている』『まあまあおこなっている』と回答した人の割合。
		身近に子育ての相談ができる場所があると思っている人の割合	➡	43.9 % (n=335)	70.3 % (n=2,214)	73.5 % (n=2,216)	69.8 % (n=2,329)	➡	➡	57 %	69 %	就学前児童を持つ保護者、小学生を持つ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート(H26までは次世代育成支援後期行動計画アンケート))で、「身近に子育ての相談ができる場所がありますか。」という設問に対して、『ある』と回答した人の割合。 ※H24までは、市民アンケート調査における属性で、就学前または小学生を養育している人で「身近に子育ての相談ができる場所がありますか。」という設問に対して、『ある』と回答した人の割合。
親が子どもとふれあう時間をもつことができ、仕事と家庭の両立ができている	1-⑥ 子育てと仕事が両立できる環境を整える	働いている職場が、子育てに対する理解があると思っている人の割合	➡	57.5 % (n=864)	64.5 % (n=453)	66.1 % (n=466)	68.5 % (n=458)	➡	➡	72 %	84 %	市民アンケート調査における属性で、働いている人で、「あなたの職場は、子育てに対する理解があると思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。
		就学前児童の父親のうち、これまで育児休業を取得したことがある人の割合	➡	6.3 % (n=460)	7.8 % (n=665)	7.9 % (n=722)	9.8 % (n=716)	➡	➡	10 %	15 % (H31)	就学前児童を持つ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート(H26までは次世代育成支援後期行動計画アンケート))で、「封筒のあて名のお子さんについて、母親、父親がこれまでに育児休業を取得したことがありますか。」という設問に対し、父親が『現在育児休業中』『取得したことがある』と答えた人の数/アンケート回答者のうち父親が『現在育児休業中』『取得したことがある』『勤め先に育児休業制度はあるが取得したことはない』と答えた人の数×100
		就学前児童の母親のうち、これまで育児休業を取得したことがある人の割合	➡	81.9 % (n=414)	83.3 % (n=641)	79.3 % (n=692)	82 % (n=678)	➡	➡	85 %	90 % (H31)	就学前児童を持つ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート(H26までは次世代育成支援後期行動計画アンケート))で、「封筒のあて名のお子さんについて、母親、父親がこれまでに育児休業を取得したことがありますか。」という設問に対し、母親が『現在育児休業中』『取得したことがある』と答えた人の数/アンケート回答者のうち母親が『現在育児休業中』『取得したことがある』『勤め先に育児休業制度はあるが取得したことはない』と答えた人の数×100
		保育所の待機児童数(人/年度)	➡	41 人	125 人	143 人	98 人	➡	➡	8 人	0 人 (H31)	市で集計

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
地域がつながり、助け合い、互いの信頼関係の中で、子どもたちを守っている	1-⑦ 地域社会全体で子どもを守り育てる	近所の子どもたちと積極的に挨拶や声掛けすることを心掛けている人の割合	➡	76.8 % (n=1,653)	72.4 % (n=849)	75.7 % (n=869)	71.8 % (n=859)	➡	➡	84 %	89 %	市民アンケート調査で「近所の子どもたちと積極的にあいさつや声掛けすることを心掛けていますか。」という設問に対して、『いつも心掛けている』『まあまあ心掛けている』と回答した人の割合。
		過去1年間に子どもにかかわる活動をしたことがある人の割合	➡	37.0 % (n=1,653)	27.1 % (n=849)	30.8 % (n=869)	21.4 % (n=859)	➡	➡	47 %	57 %	市民アンケート調査で「あなたは過去1年間に、子どもに関わる活動をしたことがありますか。」という設問に対して、『ある』と回答した人の割合。
		子育て支援ボランティア数	➡	383 人	235 人	256 人	258 人	➡	➡	450 人	550 人	ボランティアセンター登録の託児ボランティアの数+子育て広場のネットワークカーの数
		地域の人に支えてもらって子育てをしていると思う人の割合	➡	46.6 % (n=335)	46.6 % (n=2,216)	47.3 % (n=2,219)	43.4 % (n=2,327)	➡	➡	57 %	68 %	就学前児童を持つ保護者、小学生を持つ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート(H26までは次世代育成支援後期行動計画アンケート))で、「地域の人に支えてもらって子育てをしていると思いますか。」という設問に対して『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 ※H24までは、市民アンケート調査における属性で、就学前または小学生を養育している人で、「地域の人に支えてもらって子育てをしていると思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。
学校、コミュニティ、家庭が連携して、子どもが学び、成長できる環境となっている	1-⑧ 学校、コミュニティ、家庭が連携し、子どもの健全育成を推進する	子どもの学校での教育について、学校、家庭、地域の連携ができていると思う人の割合	➡	30.8 % (n=1,653)	34.6 % (n=849)	34.4 % (n=869)	35.4 % (n=859)	➡	➡	43 %	57 %	市民アンケート調査で「子どもの学校での教育について、学校、家庭、地域の連携ができていると思いますか。」という設問に対して、『できている』『どちらかというできている』と回答した人の割合。
		学校で活動している地域のボランティアの数	➡	6,184 人 (H23)	194,576 人	237,864 人	201,854 人	➡	➡	6,500 人	200,000 人 (H31)	各学校からの報告を市で集計
		学校・家庭・地域が連携した事業に参加した子どもの数(人/年度)	➡	121,862 人	231,300 人	269,474 人	174,002 人	➡	➡	129,000 人	180,000 人 (H31)	放課後子ども教室へ参加した子どもの数 ※H24までは、「いきいき子ども支援の会主催事業、放課後子ども教室へ参加した子どもの数」。H25より、いきいき子ども支援推進事業を放課後子ども教室事業に統合した。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
障がいのある子どもが、 等しく教育・保育を受け ることができる	1-⑨ 障がいのある子どもが、 適切な教育・保育を受け られる体制を整える	特別支援教育に関する学習会・研修会への教 職員の参加者数(人/年度)	➡	911 人 (H23)	1,310 人	1,554 人	778 人	➡	➡	950 人	2,000 人	特別支援教育に関する学習会、研修会へ参加した教職員の数
		特別支援教育を必要とする児童生徒への相 談・指導体制が充実してきていると思う教職員の 割合	➡	47.2 % (n=566)	63.1 % (n=661)	60.0 % (n=680)	54.5 % (n=679)	➡	➡	60 %	72 %	教職員対象のアンケート調査で、「特別支援教育を必要とする児 童・生徒への相談・指導体制が充実してきていると思いますか。」 という設問に対し、『とてもそう思う』『そう思う』と回答した人の割 合。
		特別支援教育について理解が進んでいると思 う人の割合	➡	49.3 % (n=268)	62.9 % (n=97)	60.4 % (n=101)	58.9 % (n=73)	➡	➡	60 %	72 %	市民アンケート調査における属性で、小学生、中学生がいる人 で、「障がいのある幼児児童生徒を指導・支援する特別支援教育 について知っていますか。」という設問に対して『知っている』と回 答した人の割合。 ※H23は、「特別支援教育について理解が進んでいると思いま すか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというそう思う』と 回答した人の割合。 ※H24以降は、「特別支援教育について知っていますか。」という 設問に対して、『聞いたことがあり内容も知っている』と回答した人 の割合。
だれもが興味があること を、気軽に学べている	1-⑩ 一人一人が生涯を通して 行う学習を支援するととも に、生涯学習による地域 の活性化を推進する	自分が参加したいと思う講座や活動があると 思う人の割合	➡	35.4 % (n=1,653)	29.8 % (n=849)	31.4 % (n=869)	29 % (n=859)	➡	➡	46 %	57 %	市民アンケート調査で「公民館やライフパーク倉敷などに自分が 参加したいと思う講座や活動がありますか。」という設問に対し て、『十分ある』『まあまあある』回答した人の割合。
		公民館、図書館等で開催される生涯学習講座 への参加者数(人/年度)	➡	36,099 人	24,960 人	28,565 人	7,733 人	➡	➡	43,800 人	54,200 人	市民学習センター(視聴覚業務含む)、基幹・地区公民館、図書館 で開催される生涯学習講座受講者数
		生涯学習講座の情報を知りたいときに、簡単 に入手することができると思っている人の 割合	➡	35.6 % (n=1,653)	30.3 % (n=849)	31.0 % (n=869)	33.0 % (n=859)	➡	➡	49 %	61 %	市民アンケート調査で「生涯学習講座の情報を知りたいときに、簡 単に入手することができますか。」という設問に対して、『でき ている』『どちらかというできている』と回答した人の割合。
		市民一人当たりの市立図書館の貸出数(点/年 度)	➡	6.1 点	5.4 点	5.6 点	5.2 点	➡	➡	6.5 点	6.9 点	図書の年間貸出点数/市の人口 ※図書(視聴覚・雑誌を含む)の 年間貸出点数(団体を含む)とは、中央・水島・児島・玉島・船穂・真 備の図書館(ライフパークを除く)、移動図書館、公民館図書室の 総貸出点数
生活の中に個性的で魅力 的な文化が息づいている	2-① くらしき文化、芸術活動を 振興する	生活の中で文化的活動(鑑賞と実践のどち らでも可)を行っている人の割合	➡	38.2 % (n=1,653)	30.7 % (n=849)	30.5 % (n=869)	27.8 % (n=859)	➡	➡	47 %	56 %	市民アンケート調査で「生活の中で文化的活動(鑑賞と実践のど ちらでも可)をおこなっていますか。」という設問に対して、『よくお こなっている』『ときどきおこなっている』と回答した人の割合。
		文化施設の利用者数(人/年度)	➡	524,311 人	507,539 人	450,793 人	96,931 人	➡	➡	675,000 人	690,000 人	倉敷市民会館、芸文館、児島文化センター、玉島文化センター、 マービーふれあいセンターの利用者総数
		市内の歴史・文化的イベントが市のイメージ アップに役立っていると思っている人の割合	➡	49.5 % (n=1,653)	48.8 % (n=849)	48.0 % (n=869)	47.0 % (n=859)	➡	➡	56 %	63 %	市民アンケート調査で「市内の歴史・文化的イベントが、市のイ メージアップに役立っていると思いますか。」という設問に対し て、『役立っている』『どちらかという役立っている』と回答した人の割 合。
世代を超えて受け継がれ てきたくらしき文化が大切 に継承され、輝いている	2-② くらしき文化の保存・継承 と活用を図る	子どもと一緒に地域の伝統行事に参加した ことがある人の割合	➡	51.3 % (n=335)	57.9 % (n=2,225)	65.3 % (n=2,232)	54.7 % (n=2,336)	➡	➡	62 %	72 %	就学前児童を持つ保護者、小学生を持つ保護者へのアンケート 調査(倉敷子ども未来プランアンケート(H26までは次世代育成支 援後期行動計画アンケート))で、「子どもと一緒に地域の伝統行 事に参加したことがありますか。」という設問に対して『ある』と回 答した人の割合。 ※H24までは、市民アンケート調査における属性で、就学前また は小学生を養育している人で、「子どもと一緒に地域の伝統行事 に参加したことがありますか。」という設問に対して、『ある』と回 答した人の割合。
		後世に伝えたいと思うくらしき文化が大切に継 承されていると思っている人の割合	➡	56.3 % (n=1,653)	62.5 % (n=849)	57.8 % (n=869)	60.4 % (n=859)	➡	➡	64 %	73 %	市民アンケート調査で「後世に伝えたいと思うくらしき文化が大 切に継承されていると思いますか。」という設問に対して、『継承さ れていると思う』『いっか継承されていると思う』と回答した人の割 合。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
だれもがどこに住んでいてもいつでも気軽にスポーツを楽しむことができる	2-③ スポーツ・レクリエーション活動を推進する	週1回以上スポーツをしている人の割合	➡	29.3 % (n=1,653)	41.0 % (n=849)	43.0 % (n=869)	42.5 % (n=859)	➡	➡	39 %	49 %	市民アンケート調査で「週1回以上スポーツ(※)をしていますか。」という設問に対して、『している』と回答した人の割合。 (※)ウォーキングや体操等、健康・体力づくりのための運動を含みます。 ※H25より、設問中のスポーツに関する注釈を追加。
		気軽にスポーツを楽しむ施設が身近にあると思っている人の割合	➡	39.0 % (n=1,653)	47.9 % (n=849)	48.0 % (n=869)	48.7 % (n=859)	➡	➡	48 %	58 %	市民アンケート調査で「気軽にスポーツ(※)を楽しむ施設が身近にありますか。」という設問に対して、『ある』と回答した人の割合。 (※)ウォーキングや体操等、健康・体力づくりのための運動を含みます。 ※H25より、設問中のスポーツに関する注釈を追加。
		国民体育大会に出場する選手数(人/年度)	➡	131 人	135 人	170 人	17 人	➡	➡	170 人	180 人	市で集計(年度終了時)
経済活動が活発で、働く機会が充実している	2-④ 商工業・農林水産業の持続的発展を図り、産業力を強化する	仕事にやりがいを感じている人の割合	➡	69.4 % (n=864)	66.2 % (n=453)	69.3 % (n=466)	66.1 % (n=458)	➡	➡	79 %	87 %	市民アンケート調査における属性で、働いている人で、「自分の仕事にやりがいを感じていますか。」という設問に対して、『感じている』『どちらかというと感じている』と回答した人の割合。
		市内事業所の製造品出荷額(億円/年)	➡	48,309 億円 (H20)	36,776 億円 (H29)	43,859 億円 (H30)	38,786 億円 (R1)	➡	➡	48,600 億円	51,900 億円	工業統計調査より ※H23は経済センサスー活動調査からの数値
		有効求人倍率	➡	0.54 倍	2.05 倍	2.10 倍	1.57 倍	➡	➡	1.57 倍	1.72 倍	倉敷中央公共職業安定所「雇用情勢」より(年平均の値を活用) ※倉敷市の他に早島町と総社市も含んだ数値となる
		認定農業者数	➡	360 人	265 人	257 人	251 人	➡	➡	410 人	460 人	意欲のある農業者が自らの経営を計画的に改善するために作成した「農業経営改善計画」を市町村に認定された者の数(年度終了時)
		市内の耕地面積	➡	4,710 ha	3,950 ha	3,910 ha	3,820 ha	➡	➡	4,710 ha	4,710 ha	作物統計調査より(毎年実施)
商店街がにぎわい、まちに活気がある	2-⑤ 地域に根ざした商店街の活性化を図る	商店街が魅力的であると思っている人の割合	➡	8.9 % (n=1,653)	12.8 % (n=849)	12.9 % (n=869)	13.3 % (n=859)	➡	➡	17 %	28 %	市民アンケート調査で「市内の商店街が魅力的だと思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「商店街が魅力的だと思いますか。」
		市内商店街の休日一日当たりの通行量	➡	81,514 人	- 人	112,418 人	- 人	-	-	83,300 人	128,500 人	倉敷市商店街等通行量調査より(2年に1回)
		商業集積地の売上高(百万円/年)	➡	34,137 百万円 (H19)	- 百万円	- 百万円	- 百万円	-	-	34,137 百万円	41,913 百万円	商業統計より(5年に2回「簡易調査と本調査」)
地域の産業が時代の流れに対応し、活性化している	2-⑥ 新分野への進出や起業しやすい環境を整える	地域の産業が活性化していると思っている人の割合	➡	17.9 % (n=1,653)	22.1 % (n=849)	22.3 % (n=869)	19.1 % (n=859)	➡	➡	27 %	39 %	市民アンケート調査で「地域の産業が活性化していると思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。
		認定農業者数	➡	360 人	265 人	257 人	251 人	➡	➡	410 人	460 人	意欲のある農業者が自らの経営を計画的に改善するために作成した「農業経営改善計画」を市町村に認定された者の数(年度終了時)
		市内事業所の製造品出荷額(億円/年)	➡	48,309 億円 (H20)	36,776 億円 (H29)	43,859 億円 (H30)	38,786 億円 (R1)	➡	➡	48,600 億円	51,900 億円	工業統計調査より ※H23は経済センサスー活動調査からの数値
		商業集積地の売上高(百万円/年)	➡	34,137 百万円 (H19)	- 百万円	- 百万円	- 百万円	-	-	34,137 百万円	41,913 百万円	商業統計より(5年に2回「簡易調査と本調査」)

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
若者の働く場所があり、生計を立てられ、将来の見通しがもてている	2-⑦ 安心して働き続けられる就業環境と雇用対策の充実を図る	仕事、結婚など自分の将来の人生設計に不安を感じる若者(16歳～34歳)の割合	↓	75.3 % (n=296)	68.9 % (n=90)	60.6 % (n=104)	60.6 % (n=127)	↓	→	58 %	42 %	市民アンケート調査における属性で、16歳～34歳の人で、「自分の将来の人生設計(仕事、結婚など)に不安を感じますか。」という設問に対して、『感じる』『どちらかというと感じる』と回答した人の割合。
		若者(16歳～34歳)の未就業率	↓	4.7 % (n=296)	2.2 % (n=90)	1.9 % (n=104)	5.5 % (n=127)	↓	→	3.3 %	2.4 %	市民アンケート調査における属性で、16歳～34歳の人で、『無職』と回答した人の割合。
心に充足感やゆとりをもち、家庭と仕事の調和がとれている	2-⑧ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を支援する	余暇時間を有意義に過ごせていると思っている人の割合	↑	56.3 % (n=1,653)	56.4 % (n=849)	60.6 % (n=869)	56 % (n=859)	↓	↓	65 %	73 %	市民アンケート調査で「余暇時間を有意義に過ごすことができますか。」という設問に対して、『できている』『どちらかというのできている』と回答した人の割合。
		自分や家庭の事情に合った働き方ができていると思っている人の割合	↑	65.0 % (n=864)	68.7 % (n=453)	73.2 % (n=466)	74.7 % (n=458)	↑	→	71 %	78 %	市民アンケート調査における属性で、働いている人で、「自分や家庭の事情に合った働き方ができていますか。」という設問に対して、『できている』『どちらかというのできている』と回答した人の割合。
市中心部のにぎわいの再生と利便性の向上が図られて、まちづくりが行われている	2-⑨ 中心市街地におけるにぎわいの再生と都市機能の向上を図る	市中心部に魅力を感じている人の割合	↑	10.2 % (n=1,653)	16.8 % (n=849)	15.9 % (n=869)	19.9 % (n=859)	↑	→	25 %	38 %	市民アンケート調査で「市中心部(倉敷駅周辺)に魅力を感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「市中心部(倉敷駅周辺)に魅力があると思いますか。」という設問に対して『魅力がある』と答えた人の割合。
		中心市街地の居住人口	↑	8,069 人	7,646 人	7,524 人	7,575 人	↓	→	8,300 人	8,800 人 (H31)	<全域>本町, 阿知1丁目, 阿知2丁目, 阿知3丁目, 鶴形1丁目, 鶴形2丁目, 川西町, 稲荷町, 石見町 <一部>美和1丁目, 美和2丁目, 中央1丁目, 中央2丁目, 老松町1丁目, 老松町3丁目, 東町, 日吉町, 寿町, 昭和1丁目, 昭和2丁目, 幸町
特色を生かした各地域の活性化と住民の生活向上が行われている	2-⑩ 都市基盤の整備を図り、各地域・地区の活性化と連携を推進する	地域の歴史やまちづくりに関心をもっている人の割合	↑	35.6 % (n=1,653)	37.0 % (n=849)	33.9 % (n=869)	33.1 % (n=859)	↓	↓	47 %	59 %	市民アンケート調査で「あなたの住んでいる地域の歴史やまちづくりに関心をもっていますか。」という設問に対して、『もっている』と回答した人の割合。
		現在住んでいるところが住みやすいと感じている人の割合	↑	51.6 % (n=1,653)	58.9 % (n=849)	57.5 % (n=869)	60 % (n=859)	↑	→	62 %	70 %	市民アンケート調査で「現在住んでいるところが住みやすいと感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「現在住んでいる地区が住みやすいと思いますか。」という設問に対して『思う』と答えた人の割合。
		自分の住んでいる地域に魅力があると感じている人の割合	↑	23.0 % (n=1,653)	35.1 % (n=849)	35.2 % (n=869)	35 % (n=859)	↑	↓	38 %	51 % (H31)	市民アンケート調査で「自分の住んでいる地域に魅力があると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「自分の住んでいる地区に魅力があると思いますか。」という設問に対して『思う』と答えた人の割合。
美観地区などの歴史的な景観が保全されるとともに、まち全体としても魅力的な景観を有している	2-⑪ 魅力的で、風格ある景観の形成を推進する	倉敷の景観で改善した方がよいところがあると思っている人の割合	↓	34.6 % (n=1,653)	26.9 % (n=849)	21.9 % (n=869)	24.2 % (n=859)	↓	→	28 %	21 %	市民アンケート調査で「市内の景観で改善した方がよいところがあると思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「倉敷の景観で改善した方がよいところがあると思いますか。」
		歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	↑	45.8 % (n=1,653)	51.0 % (n=849)	48.8 % (n=869)	54.7 % (n=859)	↑	→	54 %	65 %	市民アンケート調査で「市内では、歴史的な景観が保全されていると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
倉敷の魅力を積極的にPRし、たくさんの方が訪れるようになっている	2-⑫ 倉敷の魅力を国内外に発信し、来訪者の増大を図る	市内にある主要観光地の観光客数(千人/年)	➡	5,551 千人	4,819 千人	5,208 千人	2,326 千人	➡	➡	5,025 千人	6,000 千人 (H31)	岡山県観光客動態調査での市内主要観光地の入り込み数(暦年)
		市内の宿泊客数(千人/年)	➡	908 千人	939 千人	949 千人	621 千人	➡	➡	1,000 千人	1,200 千人 (H31)	倉敷観光コンベンションビューロー加盟宿泊施設からの報告数
		観光関連のホームページの閲覧数(件/年度)	➡	544,393 件	2,296,793 件	2,219,760 件	1,714,285 件	➡	➡	699,000 件	3,000,000 件	倉敷観光WEB を閲覧したカウント数
		倉敷の魅力を人に紹介・説明することができると思っている人の割合	➡	27.0 % (n=1,653)	25.7 % (n=849)	25.1 % (n=869)	26.1 % (n=859)	➡	➡	38 %	50 %	市民アンケート調査で「あなたは倉敷の魅力を人に紹介・説明することができますか。」という設問に対して、『できる』と回答した人の割合。
経済や開発による発展と環境保全のバランスが保たれている	3-① 環境保全と地域の社会・経済活動が調和した、持続的に発展する地域づくりを推進する	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合	➡	27.4 % (n=1,653)	33.5 % (n=849)	34.3 % (n=869)	35.1 % (n=859)	➡	➡	41 %	54 %	市民アンケート調査で「自然環境に配慮したまちづくりができていると思いますか。」という設問に対して、『できている』『どちらかというのできている』と回答した人の割合。
		地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合	➡	51.0 % (n=1,653)	36.5 % (n=849)	40.2 % (n=869)	41.0 % (n=859)	➡	➡	62 %	72 %	市民アンケート調査で「あなたは、自然保護・環境保全に配慮した取り組みをおこなっていますか。」という設問に対して、『おこなっている』『いくらかおこなっている』と回答した人の割合。 ※H23、H24の設問は「あなたは、地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みをおこなっていますか。」
		多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じる人の割合	➡	32.5 % (n=1,653)	30.2 % (n=849)	29.3 % (n=869)	36.7 % (n=859)	➡	➡	45 %	56 %	市民アンケート調査で「多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じますか。」という設問に対して、『感じる』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると思いますか。」という設問に対して『あると思う』と回答した人の割合。
		地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合	➡	41.7 % (n=163) (H22)	- %	24.2 %	23.7 %	➡	➡	50 %	60 %	倉敷市環境基本計画に基づく企業アンケート調査で、「環境対策について、取り組んでいるものへチェックしてください。」という設問に対して、『地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている』と答えた企業の割合。 ※2年に1回の調査
市内のすべての地域で、水と空気と大地がきれいである	3-② 安心と安らぎのある清潔で快適な生活環境の確保を図る	身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	➡	43.6 % (n=1,653)	43.7 % (n=849)	42.1 % (n=869)	46.8 % (n=859)	➡	➡	54 %	66 %	市民アンケート調査で「身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。
		自分の家から出す生活排水について、水を汚さない取り組みを行っている人の割合	➡	51.2 % (n=1,653)	49.1 % (n=849)	48.0 % (n=869)	51.8 % (n=859)	➡	➡	63 %	75 %	市民アンケート調査で「自分の家から出す生活排水について、水を汚さない取り組みをおこなっていますか。」という設問に対して、『おこなっている』と回答した人の割合。
		大気に関する環境基準値の達成率	➡	84.7 %	85.0 %	85.2 %	85.2 %	➡	➡	89 %	93 %	基準値達成局数/有効測定局数(二氧化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、二酸化窒素、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、ダイオキシン類)×100
		汚水処理人口普及率	➡	85.5 %	92.6 %	92.7 %	93.1 %	➡	➡	90 %	93 %	(下水道処理人口+農業集落排水処理人口+合併浄化槽処理人口)/住民基本台帳人口×100

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(ごみの再生利用)が徹底され、循環型社会が形成されている	3-③ 持続的に発展する社会形成に向けて資源を有効に活用する循環型社会の実現を図る	3Rを実践している人の割合	➡	31.6 % (n=1,653)	32.0 % (n=849)	32.7 % (n=869)	31.9 % (n=859)	➡	➡	47 %	62 %	市民アンケート調査で「3Rを実践していますか。」という設問に対して、『いつもしている』と回答した人の割合。
		一般廃棄物の年間排出量(家庭系)(t)	➡	123,785 t	108,331 t	108,408 t	106,361 t	➡	➡	121,327 t	113,800 t	市で集計(毎年6月)
		一般廃棄物の年間排出量(事業系)(t)	➡	68,140 t	70,168 t	70,849 t	67,591 t	➡	➡	59,871 t	58,096 t	市で集計(毎年6月)
		リサイクル率	➡	47.8 %	40.9 %	46.0 %	44.3 %	➡	➡	52 %	54 % (H31)	算出式：総資源化量/ごみ総処理量(毎年6月に集計)×100 ※総資源化量とは、資源ごみ(5種14分別)+施設資源回収量+集団回収量 ※分母の「総処理量」については、市では従来「総排出量」で算出していたが、環境省からの指導により、平成23年度から「総処理量」に変更した。
		産業廃棄物の年間最終処分量	➡	80,018 t (H22)	80,514 t	94,216 t	73,733 t	➡	➡	74,000 t	68,000 t	市内の最終処分場からの報告に基づき、実際に埋め立てられた産業廃棄物のうち、排出元が倉敷市であるものを集計。
ごみがポイ捨てされておらず、まちがきれいである	3-④ ごみのない美しく快適な生活環境の確保を図る	自分の住むまちがきれいだと思っている人の割合	➡	41.6 % (n=1,653)	57.0 % (n=849)	61.8 % (n=869)	59.3 % (n=859)	➡	➡	55 %	67 %	市民アンケート調査で「自分の住むまちがきれいだと思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというとそう思う』と回答した人の割合。
		外出先でのゴミを持ち帰っている人の割合	➡	60.4 % (n=1,653)	60.2 % (n=849)	59.6 % (n=869)	67.1 % (n=859)	➡	➡	75 %	90 %	市民アンケート調査で「外出先でのゴミを持ち帰っていますか。」という設問に対して、『いつも持ち帰る』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「外出先で出たゴミを持ち帰っていますか。」
		清掃活動に積極的に参加している人の割合	➡	22.3 % (n=1,653)	18.6 % (n=849)	17.3 % (n=869)	17.3 % (n=859)	➡	➡	35 %	48 %	市民アンケート調査で「清掃活動に参加していますか。」という設問に対して、『積極的にしている』と回答した人の割合。
地球温暖化対策に対する意識をもって行動し、低炭素社会が形成されている	3-⑤ 地球温暖化対策を推進する	エコ通勤やエコドライブなどを常々実践している人の割合	➡	24.4 % (n=1,653)	27.9 % (n=849)	25.8 % (n=869)	25 % (n=859)	➡	➡	39 %	54 %	市民アンケート調査で「エコ通勤やエコドライブを実践していますか。」という設問に対して、『常にしている』と回答した人の割合。
		家庭で温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいる人の割合	➡	24.6 % (n=1,653)	19.4 % (n=849)	17.4 % (n=869)	19.9 % (n=859)	➡	➡	39 %	53 % (H31)	市民アンケート調査で「あなたの家庭では、温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいますか。」という設問に対して、『取り組んでいる』と回答した人の割合。
		市全域から排出される温室効果ガスの削減割合(平成19(2007)年度比)	➡	39,573 千t (H19)	18.0 %削減 (H27)	18.0 %削減 (H28)	17.1 %削減 (H29)	➡	➡	6 %削減	12 %削減	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき毎年度公表する市全域からの温室効果ガス排出量で、(平成19年度の排出量-その年の排出量)/平成19年度の排出量×100 ※3年前の実績値となる (例)「H28」→H25の実績値
		温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいる企業の割合	➡	5.5 % (H22)	- %	6.1 %	13.7 %	➡	➡	50 %	80 %	倉敷市環境基本計画に基づく企業アンケート調査で、「環境対策について、取り組んでいるものへチェックしてください。」という設問に対して、『温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいる』と答えた企業の割合。 ※2年に1回の調査。
犯罪が少なく、安心して暮らしている	3-⑥ 安心して生活できるための各種相談体制や防犯対策の充実を図る	市民・行政・学校・警察が連携して、防犯対策がとれていると思っている人の割合	➡	39.4 % (n=1,653)	45.8 % (n=849)	46.0 % (n=869)	49.3 % (n=859)	➡	➡	51 %	63 %	市民アンケート調査で「市民・行政・学校・警察が連携して、防犯対策がとれていると思いますか。」という設問に対して、『とれている』『まあまあとれている』と回答した人の割合。
		犯罪にならなかったが、身の危険を感じたことのある人の割合	➡	13.6 % (n=937) (H23)	13.2 % (n=849)	10.0 % (n=869)	10.8 % (n=859)	➡	➡	11 %	7 %	市民アンケート調査で「過去1年の間に、犯罪にはならなかったが、身の危険を感じたことがありますか。」という設問に対して、『よくある』『ときどきある』と回答した人の割合。
		犯罪発生件数(件/年)	➡	6,729 件	2,498 件	2,419 件	2,013 件	➡	➡	5,100 件	3,000 件	警察署統計より

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
行政と市民、企業等が連携をとり、災害に備え対策をとっている	3-⑦ 防災意識を高め、災害に的確かつ迅速に対応できる体制を強化する	災害発生時のために、日頃から家族で備えをしている人の割合	➡	32.2 % (n=1,653)	53.2 % (n=849)	58.3 % (n=869)	62.3 % (n=859)	➡	➡	47 %	62 %	市民アンケート調査で「災害発生時のために、日頃から家族で備えをしていますか。」という設問に対して、『している』『いくらかしている』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「非常持ち出し袋の準備、避難経路の確認など、災害発生時のために、普段から家族で備えをしていますか。」
		自主防災組織の結成率(カバー率)	➡	33.89 %	73.56 %	77.31 %	77.74 %	➡	➡	39 %	82 % (H32)	結成数(世帯数)/全世帯数×100
		地域の防災訓練に参加している人の割合	➡	9.0 % (n=1,653)	10.4 % (n=849)	10.5 % (n=869)	9.3 % (n=859)	➡	➡	21 %	34 %	市民アンケート調査で「地域の防災訓練に参加していますか。」という設問に対して、『している』と回答した人の割合。
常に安全でおいしい水が届いている	3-⑧ 安全でおいしい水を安定的に給水する	節水を心掛けている人の割合	➡	92.5 % (n=795)	92.5 % (n=854)	92.9 % (n=924)	93.5 % (n=587)	➡	➡	95 %	97 %	水道展アンケート調査で、「日頃から水を大切に、節水に心がけていますか。」という設問に対して、『よく心がけている』『時々心がけている』と回答した人の割合。
		水道水を飲料水として直接飲んでいる人の割合(直接飲用率)	➡	93.9 % (n=840)	96.0 % (n=1,378)	96.9 % (n=1,524)	98.3 % (n=1,108)	➡	➡	95 %	96 %	水道展アンケート調査で、「ご家庭ではどのようにして水道水を飲んでいますか。」という設問に対して、『そのまま飲んでいる』『冷やしたり、沸騰させたりして飲んでいる』『お茶やコーヒーなどで飲んでいる』『浄水器を利用して飲んでいる』と回答した人の割合。
		水道水がおいしいと思っている人の割合	➡	52.9 % (n=612)	52.7 % (n=827)	52.1 % (n=896)	45 % (n=587)	➡	➡	61 %	69 %	水道展アンケート調査で、「倉敷市の水道水はおいしいですか。」という設問に対して、『おいしい』『まあまあおいしい』と回答した人の割合。
市民が自分の健康に関心をもち、健康づくりに自ら取り組んでいる	4-① 市民の自発的な健康づくりを支援する	現在、たばこを吸っている人の割合	➡	17.2 % (n=1,653)	12.1 % (n=849)	13.0 % (n=869)	10.0 % (n=859)	➡	➡	13 %	9 %	市民アンケート調査で「あなたは、今たばこを吸っていますか。」という設問に対して、『はい』と回答した人の割合。
		1回に30分以上運動する日が週2日以上ある人の割合	➡	29.9 % (n=950) (H22)	35.6 % (n=849)	38.7 % (n=869)	38.1 % (n=859)	➡	➡	35 %	40 % (H31)	市民アンケート調査で「1回に30分以上の運動をする日が、1週間に何日ありますか。」という設問に対して、『2日～3日』『4日以上』と回答した人の割合。 ※H22(基準値)は、倉敷市健康増進計画「健康くらしき21」アンケートの実績値。(健康づくり課実施)
		年に1回以上健康診断やがん検診を受けている人の割合	➡	67.4 % (n=1,653)	71.6 % (n=849)	71.2 % (n=869)	67.1 % (n=859)	➡	➡	76 %	84 %	市民アンケート調査で「年に1回以上健康診断やがん検診を受けていますか。」という設問に対して、『受けている』と回答した人の割合。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
豊かな自然の恵みにより食べ物がおいしく、健全な食生活が実現されている	4-② 市民の健全な食生活を推進する	できるだけ地元でとれた食材を利用している人の割合	➡	44.6 % (n=1,653)	39.3 % (n=849)	40.0 % (n=869)	40.5 % (n=859)	➡	➡	56 %	67 %	市民アンケート調査で「できるだけ地元でとれた食材を利用していますか。」という設問に対して、『利用している』と回答した人の割合。
		学校給食の地場産食材使用品目の割合	➡	58.0 %	64.5 %	59.1 %	46.1 %	➡	➡	63 %	72 %	岡山県産品目数/全使用品目数×100 ※調査期間中(6月、11月の各第3週)のものが対象
		食品の安全性について十分な情報をもっている人の割合	➡	16.0 % (n=1,653)	21.2 % (n=849)	22.2 % (n=869)	25.7 % (n=859)	➡	➡	31 %	45 %	市民アンケート調査で「食品の安全性について十分な情報を得られていますか。」という設問に対して、『得られている』と回答した人の割合。
市内のどこに住んでいても、だれもが安心して、医療を受けている	4-③ だれもが安心して利用できる救急・医療環境を整える	身近にかかりつけ医がいる人の割合	➡	68.3 % (n=1,653)	70.9 % (n=849)	70.3 % (n=869)	69.4 % (n=859)	➡	➡	75 %	82 %	市民アンケート調査で「あなたは身近にかかりつけ医がいますか。」という設問に対して、『いる』と回答した人の割合。
		自分のかかりつけ医の対応に満足している人の割合	➡	92.3 % (n=1,129)	92.2 % (n=602)	93.9 % (n=611)	93.3 % (n=596)	➡	➡	94 %	96 %	市民アンケート調査において、「身近にかかりつけ医がいる」と回答した人で、「ご自分のかかりつけ医の対応に満足していますか。」という設問に対して、とても満足『まあまあ満足』と回答した人の割合。
		医療について気軽に相談できるところがある人の割合	➡	51.5 % (n=1,653)	50.8 % (n=849)	53.3 % (n=869)	54.8 % (n=859)	➡	➡	63 %	73 %	市民アンケート調査で「医療について気軽に相談できるところがありますか。」という設問に対して、『ある』と回答した人の割合。
		応急手当受講者がいる世帯の割合	➡	20.5 %	37.5 %	38.9 %	38.6 %	➡	➡	34 %	47 %	応急手当講習会の受講者数/市総世帯数×100
だれもが(歩行者や自転車、車いすなど)安全に移動できる道路環境となっている	4-④ 安全な道路環境を確保する	歩道のバリアフリーが進んでいると思う人の割合	➡	12.3 % (n=1,653)	11.0 % (n=849)	10.7 % (n=869)	12.0 % (n=859)	➡	➡	25 %	38 %	市民アンケート調査で「市内の歩道のバリアフリーが進んでいると思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「歩道のバリアフリーが進んでいると思いますか。」
		自転車のマナーが悪いと思っている人の割合	➡	69.0 % (n=1,653)	61.7 % (n=849)	57.0 % (n=869)	52.6 % (n=859)	➡	➡	54 %	38 %	市民アンケート調査で「市内の自転車のマナーについてどう思いますか。」という設問に対して、『悪い』『やや悪い』と回答した人の割合。
		交通事故発生件数(件/年)	➡	14,917 件	15,421 件	14,713 件	13,529 件	➡	➡	11,900 件	9,600 件	市町村別交通事故発生状況(倉敷警察署)より
		車以外の方法で移動していて、過去1年の間に危険だと感じた人の割合	➡	68.3 % (n=937) (H23)	64.1 % (n=849)	66.1 % (n=869)	60.4 % (n=859)	➡	➡	59 %	45 %	市民アンケート調査で「過去1年の間に、市内を徒歩や自転車で移動していて危険を感じたことがありますか。」という設問に対して、『よくある』『ときどきある』と回答した人の割合。
交通弱者が不便なく行きたいところに行くことができる	4-⑤ 交通弱者などが移動しやすい環境をつくる	交通弱者(移動手段がない人)が不便なく移動できていると思っている人の割合	➡	6.4 % (n=1,653)	7.5 % (n=849)	7.6 % (n=869)	7.7 % (n=859)	➡	➡	21 %	36 %	市民アンケート調査で「市内において、交通弱者(移動手段がない人)が不便なく移動できていると思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「交通弱者(移動手段がない人)の人が不便なく移動できていると思いますか。」という設問に対して「思う」と答えた人の割合。
		公共交通機関(電車、バス等)に満足している人の割合	➡	20.7 % (n=1,653)	22.0 % (n=849)	18.4 % (n=869)	22.9 % (n=859)	➡	➡	36 %	51 %	市民アンケート調査で「市内の公共交通機関(電車・バス等)に満足していますか。」という設問に対して、『満足』『どちらかという満足』と回答した人の割合。
		市内のノンステップバス・ワンステップバスの台数	➡	31 台	47 台	52 台	64 台	➡	➡	36 台	41 台	年1回事業者への聞き取り調査より

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
障がい者が、地域の人と安心して共に暮らせるようになっている	4-⑥ 障がい者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らすことのできる環境をつくる	地域に受け入れられていると思っている障がい者や家族の割合	➡	39.2 % (n=122) (H22)	22.0 % (n=591)	- %	25.3 % (n=541)	➡	➡	44 %	49 %	障がい者アンケート調査(隔年実施)で、「あなたは、倉敷市の障がい福祉サービスにより地域全体で支えられていると思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。 ※計画策定年に調査
		障がい者も地域の中に受け入れられて生活していると思っている人の割合	➡	25.1 % (n=1,653)	30.9 % (n=849)	33.6 % (n=869)	36.2 % (n=859)	➡	➡	38 %	54 %	市民アンケート調査で「障がい者も地域の中に受け入れられて生活していると思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。
		障がい者が施設や作業所へ通う以外で外出した年間の回数	➡	150 回 (n=122) (H22)	153 回 (n=591)	- 回	148 回 (n=486)	➡	➡	160 回	170 回	障がい者アンケート調査(隔年実施)で、「あなたは、障がい者施設や作業所や学校へ通う以外でどれくらい外出しますか。」という設問に回答した人の外出回数を平均して算出。 ※計画策定年に調査
		生活の場所に満足している障がい者の割合	➡	76.2 % (n=122) (H22)	78.7 % (n=493)	- %	80.8 % (n=541)	➡	➡	79 %	82 %	障がい者アンケート調査(隔年実施)で、「あなたは、現在の生活の場所に満足していますか。」という設問に対して、『満足している』と回答した人の割合。 ※計画策定年に調査
障がい者の社会参加や働く場が確保され自立して生活している	4-⑦ 障がい者の社会参加や就労を促進し自立を支援する	社会参加できていると思う障がい者の割合	➡	31.1 % (n=122) (H22)	23.5 % (n=591)	- %	19.8 % (n=486)	➡	➡	36 %	41 %	障がい者アンケート調査(隔年実施)で、「あなたは、社会に参加できていると思いますか。」という設問に対して、『参加できている』と回答した人の割合。 ※計画策定年の調査
		一般企業の障がい者雇用率	➡	2.15 %	3.01 %	2.77 %	2.68 %	➡	➡	2.0 %	2.2 % (H30)	岡山労働局が毎年調査する「一般企業の障がい者雇用率」より ※H25までは、倉敷市と総社市、早島町の合計。H26以降は、倉敷市のみ。
		倉敷障がい者就業・生活支援センターの登録者の就職率	➡	15.6 %	24.2 %	20.2 %	27.6 %	➡	➡	17.5 %	30 %	倉敷障がい者就業・生活支援センターの登録者のうち就職した人の数/倉敷障がい者就業・生活支援センターの登録者数×100
		自分の活動を発表する場があると思っている障がい者の割合	➡	11.9 % (n=122) (H22)	9.3 % (n=591)	- %	12 % (n=541)	➡	➡	17 %	22 %	障がい者アンケート調査(隔年実施)で、「あなたは、自分の活動を発表する場がありますか。」という設問に対して、『発表する場がある』と回答した人の割合。 ※2年に1回の調査
高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が、老後安心して暮らすことができる	4-⑧ 高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らすことのできる環境をつくる	身近で相談できる人がいると思っている高齢者の割合	➡	72.2 % (n=550)	74.1 % (n=398)	73.3 % (n=390)	75.3 % (n=365)	➡	➡	80 %	86 %	市民アンケート調査における属性で、65歳以上の人で、「あなたには身近に相談できる人がいますか。」という設問に対して、『いる』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「身近に相談できる人がいますか。」
		自らが社会参加している高齢者の割合	➡	35.3 % (n=550)	30.2 % (n=398)	30.3 % (n=390)	27.9 % (n=365)	➡	➡	47 %	57 %	市民アンケート調査における属性で、65歳以上の人で、「あなたは、社会参加していますか。」という設問に対して、『している』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「社会参加していると感じていますか。」という設問に対して、「感じている」と回答した人の割合。
		現在の収入で安心して暮らしている高齢者の割合	➡	17.1 % (n=550)	30.2 % (n=398)	28.7 % (n=390)	34 % (n=365)	➡	➡	33 %	47 %	市民アンケート調査における属性で、65歳以上の人で、「現在の収入で安心して暮らしていますか。」という設問に対して、『暮らしている』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は同じ設問に対して『安心している』と回答した人の割合。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
尊厳が守られながら必要な介護サービスを受けることができる	4-⑨ 必要な人が質の高い介護サービスを受けられる体制を整備する	尊厳が守られた介護サービスが提供されていると思っている人の割合	➡	78.4 % (n=97) (H22)	81.5 % (n=130)	- %	85.7 % (n=133)	➡	➡	80 %	87 %	介護サービス利用者アンケート(隔年実施)で、「尊厳が守られた介護サービスが提供されているとおもっていますか。」という設問に対して、『尊厳が守られた介護サービスが提供されていると思う』『どちらかというと思う』と答えた人の割合。 ※2年に1回の調査
		家族に対して、必要な介護サービスが受けられていると思っている人の割合	➡	77.6 % (n=98) (H22)	78.5 % (n=130)	- %	80.9 % (n=131)	➡	➡	80 %	87.6 %	介護サービス利用者の家族アンケート(隔年実施)で、「必要な介護サービスが受けられているとおもっていますか。」という設問に対して、『必要な介護サービスが受けられていると思う』『どちらかというと思う』と答えた人割合。 ※2年に1回の調査
		職に対して、適切な社会的評価がなされ、やりがいをもって従事できていると思っている介護サービス従事者の割合	➡	34.1 % (n=88) (H22)	16.7 % (n=137)	- %	15.1 % (n=126)	➡	➡	44 %	54 %	介護サービス従事者アンケート(隔年実施)で、「介護の職に対して、適切な社会的評価がなされ、やりがいをもって従事できているとおもっていますか。」という設問に対して、『介護の職に対して、適切な社会的評価がなされ、やりがいをもって従事できていると思う』『どちらかというと思う』と答えた人の割合。 ※2年に1回の調査
		特別養護老人ホームの入所申込者に占める在宅者の割合	➡	62.0 %	56.6 %	58.2 %	61.5 %	➡	➡	55 %	50 %	※兼て集計 H27年度から、特養の入所が原則要介護3以上に変更となったこと等を踏まえ、要介護3以上を対象として、入所申込者から在宅者(医療機関に入院中のものを除く)の割合で算定する
高齢者が生きがいをもって活動している	4-⑩ 高齢者の出会う場・学びの場・活躍の場を充実する	スポーツや趣味を楽しむ等、生きがいをもって活動している人の割合	➡	34.2 % (n=550)	40.2 % (n=398)	42.8 % (n=390)	33.2 % (n=365)	➡	➡	45 %	57 %	市民アンケート調査における属性で、65歳以上の人で、「スポーツや趣味を楽しむ等、生きがいをもって活動していますか。」という設問に対して、『活動している』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「生きがいをもって活動していますか。」
		生きがい活動に必要な情報が得られていると思う高齢者の割合	➡	23.6 % (n=550)	28.1 % (n=398)	29.7 % (n=390)	23.0 % (n=365)	➡	➡	38 %	51 %	市民アンケート調査における属性で、65歳以上の人で、「生きがい活動に必要な情報が得られていますか。」という設問に対して、『得られている』と回答した人の割合。
		週1回以上スポーツや趣味を行っている高齢者の割合	➡	51.5 % (n=550)	53.3 % (n=398)	55.1 % (n=390)	50.7 % (n=365)	➡	➡	61 %	69 %	市民アンケート調査における属性で、65歳以上の人で、「週1回以上スポーツや趣味をおこなっていますか。」という設問に対して、『おこなっている』と回答した人の割合。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
町内会をはじめコミュニティの中で世代を超えて、助け合って暮らしている	5-① 市民自らが、地域の課題を解決できるように支援する	町内会をはじめコミュニティの中で、困っているときに相談したり助けてもらえる人がいると思っている人の割合	➡	41.6 % (n=1,653)	45.7 % (n=849)	48.4 % (n=869)	48.2 % (n=859)	➡	➡	54 %	63 %	市民アンケート調査で「町内会をはじめコミュニティの中で、困っているときに相談したり助けてもらえる人がいますか。」という設問に対して、『いる』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「町内会やコミュニティのなかに、困っているときに相談したり助けてもらえる人がいますか。」という設問に対して、『いる』と答えた人の割合。
		町内会をはじめコミュニティの中で、行事や団体活動に最低年3回以上は参加している人の割合	➡	39.9 % (n=1,653)	37.5 % (n=849)	35.6 % (n=869)	33.4 % (n=859)	➡	➡	51 %	60 %	市民アンケート調査で「町内会をはじめコミュニティの中で、行事や団体活動に年3回以上参加していますか。」という設問に対して、『参加している』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「町内会や地域コミュニティのなかで行事や団体活動に年3回以上参加していますか。」という設問に対して「参加している」と答えた人の割合。
		地域に課題があるとき、行政だけでなく、地域でできることは地域やコミュニティで解決しようと考えている人の割合	➡	31.4 % (n=1,653)	52.3 % (n=849)	47.1 % (n=869)	48.9 % (n=859)	➡	➡	47 %	57 %	市民アンケート調査で「地域に課題があるとき、行政だけではなく、地域でできることは地域やコミュニティで解決しようか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「地域に課題があるとき、行政だけではなく、地域でできることは地域やコミュニティで解決しようとしていますか。」という設問に対して、『いつもしている』『まあまあしている』と答えた人の割合。
		いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動を行っていると感じている人の割合	➡	28.5 % (n=1,653)	27.2 % (n=849)	27.0 % (n=869)	25.5 % (n=859)	➡	➡	42 %	53 %	市民アンケート調査で「いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動をおこなっていると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動を行っていると感じていますか。」という設問に対して、『行っている』と答えた人の割合。
ボランティア・NPOなどの市民活動が活発に行われている	5-② ボランティア・NPOなどの自立的かつ公益的な活動を促進する	企画段階からボランティアグループやNPOと協力して実施された事業数	➡	143 事業 (H23)	187 事業	186 事業	154 事業	➡	➡	160 事業	230 事業	庁内各課に照会
		日常的に(おおむね週4日以上)、市民活動に従事しているスタッフのいる団体の割合	➡	26.2 % (n=165)	37.2 % (n=129)	40.0 % (n=130)	41.4 % (n=133)	➡	➡	34 %	44 %	市内の市民活動団体・NPOを対象としたアンケート調査で、「あなたの団体には、日常的に(概ね週4日以上)市民活動に従事しているスタッフがいらっしゃいますか。」という設問に対して、『いる』と回答した団体の割合。
		地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと考えている人の割合	➡	56.9 % (n=1,653)	52.3 % (n=849)	46.0 % (n=869)	47.0 % (n=859)	➡	➡	64 %	72 %	市民アンケート調査で「地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。
		ボランティア・NPOなどの市民活動に参加している市民の割合	➡	15.5 % (n=1,653)	9.7 % (n=849)	8.6 % (n=869)	8.6 % (n=859)	➡	➡	28 %	39 %	市民アンケート調査で「ボランティア・NPOなどの市民活動に参加していますか。」という設問に対して、『参加している』と回答した人の割合。
		団体の活動について、企業に支援されているNPOの割合	➡	16.5 % (n=165)	21.7 % (n=129)	20.0 % (n=130)	21.1 % (n=133)	➡	➡	27 %	37 %	市内の市民活動団体・NPOを対象としたアンケート調査で、「あなたの団体は、企業から何らかの支援を受けていますか。」という設問に対して、『受けている』と回答した団体の割合。

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
行政が、税金の無駄遣いをしていない	5-③ 行財政改革を推進し、更なる業務の効率化と経費の削減及び歳入増加に取り組む	職員がコスト意識をもって取り組んでいると 思っている市民の割合	➡	17.7 % (n=1,653)	18.5 % (n=849)	20.1 % (n=869)	19.9 % (n=859)	➡	➡	35 %	48 %	市民アンケート調査で「倉敷市の職員がコスト意識をもって取り組んでいると思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は同じ設問に対して、『とてもそう思う』『まあまあそう思う』と回答した人の割合。
		税金が、無駄が少なく有効に使われていると 思っている市民の割合	➡	11.7 % (n=1,653)	18.1 % (n=849)	16.3 % (n=869)	18.9 % (n=859)	➡	➡	31 %	45 %	市民アンケート調査で「倉敷市では、税金が、無駄が少なく有効に使われていると思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「税金の使い方について、無駄が少なく有効に使われていると思いますか。」という設問に対して、『とてもそう思う』『まあまあそう思う』と回答した人の割合。
		経常収支比率	➡	89.8 %	92.6 %	90.1 %	89.6 %	➡	➡	89 %	86.2 %	経常経費充当一般財源/経常一般財源総額×100
		実質公債費比率	➡	12.5 %	5.3 %	4.7 %	3.7 %	➡	➡	10 %	4.5 %	地方債の元利償還金などに使われた一般財源/標準財政規模(標準的な一般財源)×100 (3か年平均)
		自主財源比率	➡	60.4 %	50.4 %	51.1 %	39.6 %	➡	➡	66 %	68.1 %	自主財源(市税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入など)/歳入総額×100
行政が、企画立案・実施・評価・改善(PDCA)の中で、市民ニーズに的確に対応し、施策を見直している	5-④ 市民ニーズを把握し、施策や仕事のやり方を常に改善する	行政が企画立案・実施・評価・改善を行う中で、市民の意見を聴く仕組みを知っている人の割合	➡	21.2 % (n=1,653)	21.1 % (n=849)	20.4 % (n=869)	15.6 % (n=859)	➡	➡	37 %	51 %	市民アンケート調査で「行政が企画立案・実施・評価・改善を行う中で、市民の意見を聴く仕組み(※)があることを知っていますか。」という設問に対して、『知っている』と回答した人の割合。 (※)市民モニター制度、市民ふれあいトーク、市民提案制度、パブリックコメント手続、コールセンター等のことです。 ※H25より、設問中の仕組みに関する注釈を追加。
		市民の意見によって、行政が施策を改善・見直ししているとおもっている人の割合	➡	7.0 % (n=1,653)	8.7 % (n=849)	9.8 % (n=869)	11.4 % (n=859)	➡	➡	22 %	37 %	市民アンケート調査で「市民の意見によって、行政が施策を改善・見直ししていると思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。
		まちづくり指標の改善度	➡	55.4 % (H23)	42.9 %	54.4 %	45.5 %	➡	➡	65 %	70 %	対前年度で改善した指標の数/指標全体の数×100

めざすまちの姿	施策名	まちづくり指標	目指す方向性	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	前年度からの傾向	目標値(めざそう値)		算出方法
				H21	H30	R1	R2			H27	R2	
公共の施設が、市民にとって安全で使い勝手がよく、有効に活用されている	5-⑤ 施設の利便性を高め、利用促進を図る	公共施設を利用したい時に利用できると思っている人の割合	➡	57.7 % (n=1,653)	58.8 % (n=849)	59.4 % (n=869)	56.5 % (n=859)	➡	➡	66 %	74 %	市民アンケート調査で「市内の公共施設を利用したいときに利用できていますか。※ここでいう公共施設とは、図書館、ライフパーク、公民館、スポーツ施設をさしています。」という設問に対して、『はい、できています。』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「公共施設を利用したいときに利用できていますか。※公共施設とは、図書館、ライフパーク、公民館等の教育施設やスポーツ施設などをさしています。」という設問に対して、『はい、できています』と回答した人の割合。
		公共施設が利用者の意見を取り入れながら運営されていると思っている人の割合	➡	22.1 % (n=1,653)	21.7 % (n=849)	20.6 % (n=869)	21.2 % (n=859)	➡	➡	38 %	50 %	市民アンケート調査で「市内の公共施設が利用者の意見を取り入れながら運営されていると思いますか。※ここでいう公共施設とは、図書館、ライフパーク、公民館、スポーツ施設をさしています。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「公共施設が利用者の立場にたって運営されていると思いますか。」という設問に対して『思う』と回答した人の割合。
		公共施設の利用者数(延べ人数/年度)	➡	4,091,834 人	3,313,752 人	3,613,368 人	2,375,009 人	➡	➡	4,290,000 人	4,790,000 人	スポーツ施設利用者数、図書館入館者数(ライフパーク図書室含む)、ライフパーク利用者数、公民館利用者数
市役所が市民に一番身近な窓口として課題解決に向けて迅速に責任をもって対応している	5-⑥ 市民サービス向上のために、職員の意識、市役所の制度や体制を改革する	市役所に要望や相談をしたときに、他部署や国・県の業務のことであっても、関係部署に確実に連絡してくれていると思っている人の割合	➡	22.2 % (n=1,653)	24.5 % (n=849)	24.6 % (n=869)	27.6 % (n=859)	➡	➡	39 %	52 %	市民アンケート調査で「市役所に要望や相談をしたときに、他部署や国・県の業務のことであっても、関係部署に確実に連絡してくれていると思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「市役所に要望や相談をしたときに、県や国の業務のことで責任をもって対応してくれていると思いますか。」という設問に対して、『とてもそう思う』『まあまあそう思う』と答えた人の割合。
		地域の要望や困ったことがあったときの行政の相談窓口は、まずは市役所だと思っている人の割合	➡	47.3 % (n=1,653)	75.4 % (n=849)	75.3 % (n=869)	73.6 % (n=859)	➡	➡	57 %	82 %	市民アンケート調査で「地域の要望や困ったことがあったときの行政の相談窓口は、まずは市役所だと思っていますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「地域の要望や困ったことがあったときは、まずは市役所に相談すればいいと思いますか。」という設問に対して『とてもそう思う』『まあまあそう思う』と回答した人の割合。
若者が住んで楽しいまちになっている	【再掲】 1-⑤, 2-①, 2-③, 2-④ 2-⑤, 2-⑥, 2-⑦, 2-⑧ 2-⑨, 2-⑫	倉敷に住んで楽しいと思っている若者(16歳～34歳)の割合	➡	47.3 % (n=296)	53.3 % (n=90)	52.9 % (n=104)	54.3 % (n=127)	➡	➡	58 %	68 %	市民アンケート調査における属性で、16歳～34歳の人で、「倉敷に住んで、楽しいと思っていますか。」という設問に対して、『思っている』と回答した人の割合。
		仕事先や結婚等の条件があれば、倉敷市に住み続けたいと思っている若者(16歳～34歳)の割合	➡	65.2 % (n=296)	75.6 % (n=90)	72.1 % (n=104)	62.2 % (n=127)	➡	➡	73 %	80 %	市民アンケート調査における属性で、16歳～34歳の人で、「(仕事先や結婚などの条件が合えば)倉敷市に住み続けたいと思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。